

豊坂小学校

創立 明治5年

校長 伊藤 美佳

所在地 幸田町大字野場字鶏島 55 番地

電話 62-1048 Fax 62-1807

校地面積 19,979 m²(施設台帳より引用)

E-mail toyosaka@town.kota.aichi.jp

<校 訓>

<校 章>

さ と く
正 し く
すこやかに

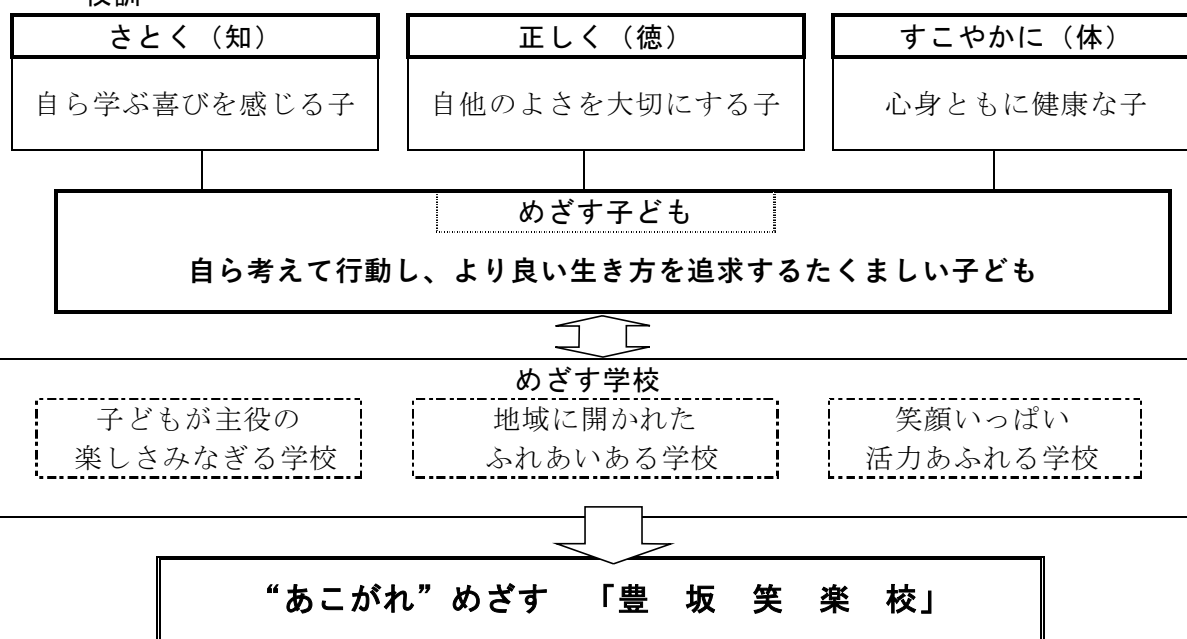
豊坂



1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓



<国際大会優勝のお姉さんと取組>

(2) 経営方針

- 「あこがれ」を大切にしつつ、子ども一人一人を伸ばす創意工夫された教育活動を展開することで、知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を育む。
- 子ども理解に努め、全校の子どもを全職員で育てる。特別な支援等の必要な子どもに対しては、保護者や関係機関と連携して共通理解を図り、適切な支援・指導にあたる。
- 教育活動を公開しコミュニティスクールとして家庭・地域・学校が一体となって、子どもの健全育成や安心・安全を確保する学校経営を展開する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 知恵づくり (知)

- ・学区の「人・もの・こと」を生かした問題解決的な学習や体験活動、自ら考え、試行錯誤する場の設定等、子どもの思考に即した単元構想をもとに授業を展開し、学ぶことの楽しさや学びを生かすことのおもしろさを味わわせる。
- ・わかる・できる授業づくりの推進とアセスメントの活用により、学習内容の定着や学力向上を図り、自ら学びに向かう姿勢を育成する。
- ・各教科において言語活動（特に「話す・聞く」）を充実させ、表現力の育成を図る。
- ・発達段階に沿ったキャリア教育を推進し、自分らしい生き方を実現させる力を育成する。

イ 心づくり (徳)

- ・自分と友だちのよさを認め合い、高め合う温かい学級集団、人間関係づくり（「とよさかタイム」の活用）に努め、異学年交流（委員会活動、クラブ活動、縦割り活動、清掃

活動、遊学の推奨等）により「あこがれ」の連鎖を生み出す。

- ・ 生き方を考え、話し合う道徳教育を推進し、豊かな心情と道徳的实践力を育む。
- ・ 体験活動や縦割り活動、地域の方とのふれあいを通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- ・ 読書活動や読み聞かせ活動を通して、読書習慣を身に付けさせ、豊かな感性を育む。

ウ 体づくり（体）

- ・ 食育・健康教育の推進と家庭との連携により、基本的な生活習慣の確立を図り、体と心の健康を育む力を高める。
- ・ チャレンジタイム（業間スポーツ）や自由遊びの時間を通して、楽しく体を動かし、たくましく生きる体力の増進を図るとともに、仲間とともに活動する楽しさを味わわせる。
- ・ 相撲大会、縄跳び大会等の伝統行事を通し、地域と連携して運動に親しむ意欲を高める。

エ 環境づくり（安全・安心・健全）

- ・ 防災教育や防犯教育と命を守る教育や、安全・安心な教育環境づくりを推進する。
- ・ 子ども理解と個に応じた指導の充実と、子どもの「心の居場所」づくりに努める。

2 現職研修の研究課題・研究分野

（１）研究主題

「どうする とよさかっ子」～子どもとつくる授業をめざして～

- ・ 仲間や地域とかかわり、みんなで協働的に問題解決に向かい、自分の将来を切り拓く力を身に付ける。

（２）研究の重点

- ・ 子どもたちの興味・関心を教師がとらえ、子どもたちが楽しいと感じ、連続した課題により、追究意欲が持続する単元を構想する。
- ・ 子どもたちが、自分と仲間の考えを比較・関連づけることができるような関わり合いの場を設定するとともに、それを有効なものとするために、基礎的な学力やコミュニケーション能力のより一層の向上をめざす。
- ・ 学習活動の見通しをもたせ、ふり返りに視点を与えることで、子どもたちが主体的に追究できるよう工夫する。

3 教職員構成

名 称	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 務 主 任	校 務 主 任	教 諭 ・ 講 師	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員（主任）	任 期 付 任 用	県 費 非 常 勤	町 学 校 教 員 等	用 務 員	介 助 員	S カ ウ ン セ ラ ー	図 書 館 指 導 員	教 員 補 助 員	教 職 員 計
人 数	1	1	0	1	1	24 (1)	1	0	1	1	2	4 (1)	1	5	(1)	1	2	46 (3)

4 学級編成状況

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
学級数	2	3	3	3	3	2	4	20
人 数	68	71	83	72	72	64	22	452
実家庭数	36	38	50	59	69	62	12	326

5 クラブ活動の編成状況

（１）運動系

名 称	球 技	室内球技	卓 球	伝承遊び
人 数	34	30	26	22

（２）文化系

名 称	書 道	図 工	百人一首	室内遊び
人 数	23	32	25	24

6 教育課程・日課編成上の特色

＜朝の会＞

30分間を確保し、今月の歌・健康観察・連絡の他に、毎週月曜日は「とよさかタイム」（子ども同士のかかわり合いの基盤づくりの場）や火、水、金曜日は読書及び読み聞かせの時間として活用している。

＜チャレンジタイム（第2校時と第3校時の間）＞

体力の向上と運動に親しむ資質や能力を育むため、5分間決められた種目に取り組み、体力と技術の向上をめざしている。行事に合わせて駆け足、相撲や縄跳びなどにも取り組んでいる。

＜とよさか（総合的な学習）＞

子どもが地域・自然・社会とかかわる大切な時間と位置づけている。

学年	主な活動内容（テーマとのつながり）	他教科との関連
3年	ナスを育てよう幸田のじまん（自然・環境）	国語・社会・理科・道徳
4年	地球を守ろう（福祉・環境）	国語・社会・理科・道徳
5年	豊坂米田守り隊（自然・共生）	国語・社会・理科・家庭・道徳
6年	とよさか笑楽広♥（福祉・共生・自然）	国語・社会・図工・家庭・道徳

＜縦割り活動＞

全校を24班に分け、6年生を班長として、1年生から6年生までの18～19名で班をつくる。縦割りタイムや児童さわやか集会をはじめとした諸活動で相互のかかわりを深める。

＜児童会活動＞

4～6年生が代表委員会を中心とし、9つの委員会に分かれて活動する。子ども自らが学校生活上の問題改善に向けて自主的に取り組むことで、子どもの自浄力・自治活動力を育てる。

7 その他の特色ある活動

＜ナスの栽培＞

学級園でナスの栽培を始めて今年で23年目になる。地域の方を講師に招き、3・6年生を中心に苗植えから栽培、収穫までを行っている。収穫したナスは給食センターに運び、幸田町小中学校の給食の食材として利用していただいている。

＜読み聞かせ（てんとう虫の会）＞

毎週水曜日に、本校の保護者で組織するボランティア「てんとう虫の会」による読み聞かせを全学年で行っている。また、3学期末には卒業前の6年生に向けて「6年生読み聞かせ」を実施している。

＜親子観劇会＞

学区コミュニティとの共催で行っている。地域が育む心の教育の場と位置づけ、児童・保護者、地域の方々を対象に観劇会を開催している。

＜相撲大会＞

26代木村庄之助の出身がこの豊坂学区であること、もともと相撲熱が高かったことから、昭和57年に土俵がつくられた。これを利用して、毎年10月に相撲大会を行っている。学区全体に参観を呼びかけて開催している。

＜ビオトープ＞

本校は、昭和52年に「豊坂みどりの少年団」を結成して以来、自然を大切にした活動を継続している。20年前に、地区の多くの方々の協力を得て完成した本校のビオトープは、植物や生き物などの自然にふれあう憩いの場になっている。ビオトープを生活科・社会科・理科・総合的な学習などで活用し、E S D（持続発展教育）の充実に努めている。

8 P T Aの組織（役員・委員の名称及びその人数）

〔P T A役員〕

会 長	1名		
副 会 長	2名	会計監査	2名
書 記	3名	家庭教育委員	2名
会 計	2名	幹 事	11名

〔P T A委員会〕

総務委員会	6名
広報委員会	3名
環境委員会	8名
保健委員会	3名
教養委員会	4名